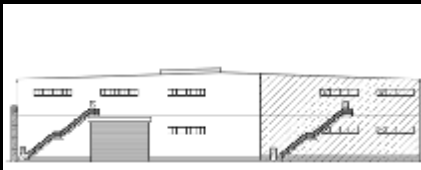


# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2010年版 | 使用評価ソフト：osk\_CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	富士電線販売(株) 物流センター 改築	階数	地上2F
建設地	柏原市本郷5丁目139-1.140-3.59-1	構造	S造
用途地域	都市計画区域、準防火地域	平均居住人員	5人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年9月 竣工	評価の実施日	2016年10月1日
敷地面積	6,655㎡	作成者	株式会社 三栄建設 一級建築士事務所 池田修也
建築面積	1,037㎡	確認日	2016年10月1日
延床面積	2,075㎡	確認者	株式会社 三栄建設 一級建築士事務所 池田修也



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 79%

③上記+②以外の 79%

④上記+ 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性	耐用性	対応性
N.A.	3.1	3.4

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	まちなみ	地域性・
1.0	3.0	2.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

建物の	自然エネ	設備システ	効率的
N.A.	3.0	5.0	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	非再生材料の	汚染物質
3.6	2.7	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	地域環境	周辺環境
3.8	2.0	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 外壁仕上材、内装仕上材は耐用年数の長いものを使用	Q3 室外環境 (敷地内) 外構緑化指数=14.11%
LR1 エネルギー CEC/L=0.19	LR2 資源・マテリアル 雨水を植栽の散水に利用 躯体と仕上材が容易に分別可能	LR3 敷地外環境 LCCO <sub>2</sub> 排出率=79%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0104

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>		建物名称	富士電線販売(株) 物流センター 改築工事					
		建設地	柏原市本郷5丁目139-1.140-3.59-1.59-6.59-7.59-8					
		用途/区分	工場					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体		4	
					住戸・宿泊			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.6		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								